

中山間地は日本の原点守ります。築きます。中山間地域の暮らしを。

県政をもっと身近に！

県政報告

第5号

令和2年3月

島根県議会議員

高橋まさひこ

高橋まさひこ事務所 〒699-1251 島根県雲南市大東町大東1891 TEL・FAX 0854-43-8057



県議会議員としての二期目は、「農水商工委員会の委員長として、島根の産業振興に向けて、知事・県庁、県民の皆様と「ワンチーム」となって取り組んでいきます。

令和元年度11月定例会

(令和元年11月21日)

12月17日

高橋まさひこ 一般質問

- ① 少人数学級編成
- ② 畜産振興（和牛）



テーマ1 少人数学級編成

本議会において、「少人数学級編成」の見直しについて知事提案がありました。島根県では、良質な子育て環境のため、国の基準を超えた少人数学級編成を実施していますが、この度の見直し提案の真意について伺いました。

問

学校現場における成果と課題は？

答え 新田 教育長

少人数学級編成を導入した学校からは、

- ① 児童生徒の理解度等に応じた支援、主体的な学び。
 - ② 人間関係づくりや心の安定。
 - ③ 家庭との連携強化。
- 等に成果があったと報告を受けている。一方、課題としては、

- ① 切磋琢磨する機会や多様な考え方に触れにくくなる。
 - ② 人間関係が固定化する懸念。
 - ③ 各教科担当の受け持ち時間数の増加への配慮が必要。
- 等があげられる。

問

少人数学級編成の基準の見直しを含めた子ども・子育て支援施策の拡充をパッケージで提案された考え方は？

答え 丸山 島根県知事

本県は、全国で最も手厚い水準

の少人数学級を編成しているが、放課後児童クラブや、子どもの医療費負担の軽減についての充実も求められている。

しかし、放課後児童クラブの充実などを進めていくためには、まとまった恒久的な財源が必要となることから、財源の捻出方法も含め、全体をパッケージで考え、バランスよく施策を充実していくことを提案させていただきました。

問

学校現場や保護者の理解を得ていくために、どのような説明を行っていくのか？

答え 丸山 島根県知事

今後、教育委員会において、見直しによる影響をできるだけ抑える工夫を含めた見直し案をつくっていく、市町村や学校関係者に県の考え方を丁寧に説明し、意見を伺いながら対応していく。

テーマ2 畜産振興（和牛）

島根県では、昨年、農業産出額を現状より100億円増やす目標を定めている。米の増産は難しいが、和牛を中心とする畜産は、中山間地域が多くを占める本県でも十二分に競争できる事業と考えられることから、畜産振興についての県の考えを伺いました。

問

子牛市場の状況と、市場価格向上に向けた対策は？

答え 鈴木 農林水産部長

昨年度の子牛価格の平均は全国平均から3万円程度低く、全国平均を下回っている状況が20年続いている。

そのため、評価の高い子牛を生産できる環境づくりとして、肉量や肉質の遺伝的な改良、優秀な種雄牛の造成、ニーズに即した育成技術の改善普及を重点的に進めていく。

問

島根に比べ鳥取の子牛価格が高い要因はどこにあるのか？

答え 鈴木 農林水産部長

鳥取県では、県内の雄牛牛由来する血統であるかどうかにかかわらず、全国の高い雄牛や雌牛を積極的に活用するなどし、極めて高い評価を受ける種雄牛を育成したことが大きく、本県としても大いに参考にしていくべきところだと考えている。

問

次の全国和牛能力共進会へ出す牛の選抜についての考え方は？

答え 鈴木 農林水産部長

次の大会では、優秀な成績をおさめることを目標とし、その達成に向け、父牛が県有種雄牛に限るという県独自の血統要件は廃止す

新型コロナウイルスに 注意しましょう！

感染予防



手洗いうがい

消毒

マスク

○十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけましょう。



若い担い手が安心して経営に取り組める環境整備が必要であり、長期的な視点で畜産振興に取り組み必要がある。特に、今重要なことは、県一律ではなく、地域ごとにその特色を生かした生産体制を確立していくことにあると考えている。

答え 鈴木 農林水産部長

問 若者等が進んで畜産に取り組んでいけるよう長期展望が必要では？

る。また、高い生産技術を持つ大規模畜産経営体にも全面的な協力を依頼していく。

特集

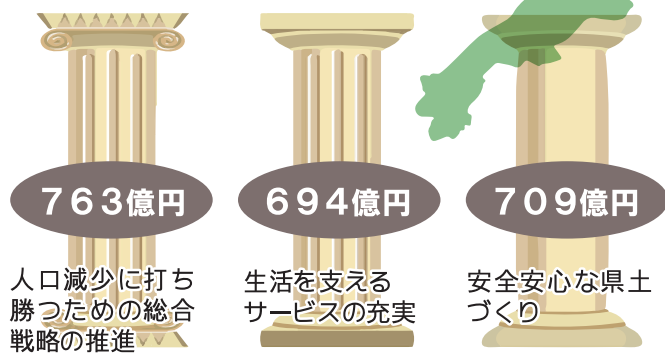
令和2年度 当初予算の概要

令和2年度の当初予算は、人口減少に打ち勝ち笑顔で暮らせる島根をつくる「島根創生」を強力に推進することと、健全な財政運営の両立を図る予算として編成しています。

中山間地域である雲南での暮らし、経済活動に関する主要なものを紹介します。(【】内は予算額(前年増減) ※金額は千万単位で四捨五入)

予算の3つの柱

当初予算額：4,750億円



1 活力ある産業をつくる

- 水田を活用した園芸の拡大【1億4千万円(+8千万円)】
- 農林水産業の担い手確保・育成【6億8千万円(+2千万円)】
- しまね和牛生産振興【1億円(+6千万円)】
- 商業・サービス業の県外開拓支援【3千万円(+3千万円)】

2 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- こども医療費負担の充実【1億5千万円(±0円)】
 - 放課後児童クラブ支援事業【6億6千万円(+8千万円)】
- ※子ども・子育て支援策は、少人数学級編成の基準見直しに加え、上記施策をパッケージで実施し、全体として充実を図ります。

3 地域を守り、のびす

- 産地創生事業(農林水産業の産地の意欲的な取組支援)【1億8千万円(1億8千万円)】
- 中山間地域・離島のスモールビジネス(豊かな自然環境や特徴ある資源を活用した地域ビジネス)の推進【6千万円(+3千万円)】

4 島根を創る人を増やす

- 山陽・関西圏・首都圏の在住者向けUターン促進施策の強化【1億1千万円(5千万円)】
- 首都圏在住者向けのIターン促進施策の強化【3千万円(+1千万円)】
- 女性一人ひとりの希望を実現する就業や起業等の支援【1億6千万円(+8千万円)】

笑顔あふれる
島根暮らしの実現を
目指していきます。

11月の県議会では、2020年からの県政運営の指針となる『島根創生計画』についても知事の所見を伺いました。

知事からは、これからの島根をどのような姿にしていこうか、すすむべき進路について、県行政と県民の皆さんがしっかりとその姿を共有することが重要であり、そのためには、県議会や記者会見、メディア報道やさまざまな会議、会合などにおいて丁寧な説明を行っていくとの回答をいただいております。

また、島根創生計画には、『笑顔あふれる島根暮らし宣言』を盛り込んでいただきました。笑顔あふれる島根暮らしを守り育て、未来へつなげていくことは重要なことだと思っております。

なお、この島根創生を推進していくためには、県施策の「スナック・アンド・ビルド」を徹底していく必要もあります。そのためにも、県民の皆さんへの丁寧な説明が必要だと考えています。私も、機会がある毎に、丁寧に説明をしていき、皆さんと一緒に笑顔あふれる島根暮らしの実現に努力していきます。

